

陽 光

校報 第215号
 男鹿市立北陽小学校
 令和5年2月24日発行

令和4年度も大詰め！

校長 石井 太

立春が過ぎ、まもなく啓蟄を迎えるというのに、春の日差しは未だ遠く、厳しい寒さが続いています。

そのような中で本校の子どもたちは、コロナやインフルエンザへの警戒感を弱めることなく、なわとびやドッジボール、雪遊び等で休み時間を楽しんでいます。さらに、雪がたくさん積もった朝には、5・6年生が率先して玄関前の雪かきを手伝ってくれています。北陽っ子の伝統になりつつある姿に頼もしさを感じているところです。

さて、2月10日～12日には、真山神社において第60回なまはげ柴灯まつりが行われました。今年度も「なまはげパンフレット」、「なまはげマスコット」の提供という形で協力することができました。

配布された「なまはげパンフレット」に対して、今年もまた各地からメッセージが届いています。その一部を紹介いたします。

メッセージは教室で子どもたちも読んでいます。達成感が高まり、他の活動への意欲付けにもつながっており、毎年のお楽しみになっています。



雪かきをがんばる5・6年生！

北陽小学校の皆さんへ
 第60回柴灯まつりを見学し、パンフレットをいただきました。パンフレットには、なまはげの歴史に関すること、なまはげが行う行為の理由等が記されておりとても興味深く拝見しました。中でも、なまはげのお面について地域の特色があることに触れているコーナーが印象的でした。分かりやすくイラストも交えながら、様々な人に伝わるよう、とても苦労されて作成されたのではないのでしょうか。
 古くから行われ、地域の皆さんで大切に守り続けている「なまはげ」。本当に素晴らしいことだと思います。パンフレットを拝見し、守り続けるという輪の中にいる皆さんをととても頼もしく感じました。大変なことはと思いますが、日本の誇れる伝統文化として長く長くあり続けてほしいと願わずにいられません。
 千葉県 S様

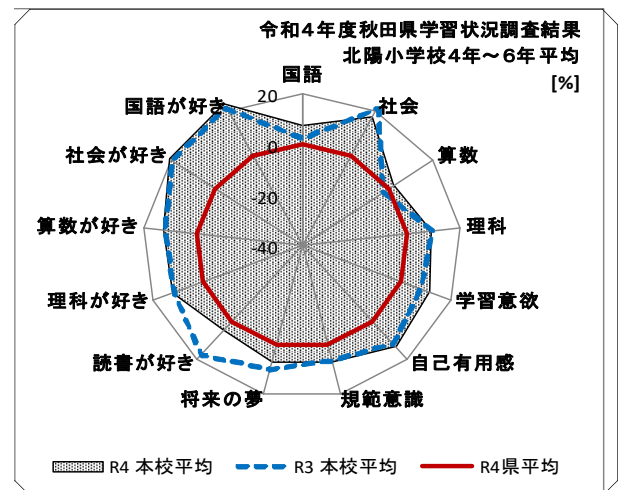


秋田県学習状況調査結果について

昨年12月に4～6年の3学年を対象に実施した秋田県学習状況調査の結果が発表されました。この調査は、国・社・算・理の4教科（4年は社会を除いた3教科）の学習状況や学習意欲等を調べるものです。この結果について3学年の平均を取り、秋田県平均や昨年度の本校（これらも3学年の平均）と比較したものが右のグラフです。県平均や昨年度の結果を示す線より外側だと「上回る」ことを、内側だと「下回る」ことを意味します。

これを見ると、次の事が読み取れます。

- 4教科ともに秋田県平均と同程度かそれ以上、昨年の本校と比較しても同程度である。
- 学習意欲が高まっており、学習の楽しさを感じている姿が見られる。読書好きの割合が昨年の本校データを下回った。
- 自己有用感（自分にはよいところがある）や規範意識（きまりや約束を守る気持ち）は近年高い数値を維持しており、北陽っ子の強みとなっている。



紹介したデータは、平均値ですので個人差はあります。これからも、個に応じた指導に努めることをお約束します。また、このグラフにはありませんが、100%の子どもが「学と回答しています。今後も職員一丸となり、

校が楽しい」「地域のためになる活動に進んで取り組みたい」よりよい学校づくりを目指していきたいと思ひます。